

患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、三思会臨床研究倫理委員会において審査され承認されています。この研究は患者さんの病気の体験をうかがうため侵襲が伴う可能性があります。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さん一人ずつに文書でご説明して、口頭と書面両方で直接同意を得て行う研究で、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名	心不全者のための地域連動型支援プログラムの実装研究
研究機関	相模女子大学
研究の目的	私たちは、病院と地域の関係者が協力し、心不全のある方が「病気の管理」だけでなく、「好きなことを続けたい」「安心して暮らしたい」という気持ちを大切にしながら、地域で暮らせるように支援する新しい方法を考えてきました。この研究では、これまで試作した支援プログラムを実際に使っていただきます。その後、参加された患者さんや支援に関わったスタッフにお話をうかがい、良かった点や改善が必要な点を整理します。いただいた声をもとに、よりよい支援プログラムに改良していきます。
研究の方法	<p>●対象となる患者さん</p> <p>東名厚木病院から退院後1年が経過し、現在東名厚木病院、とうめい厚木クリニックに通院しており、1～4の条件を満たした方で、なおかつ調査協力の同意を頂けた方。</p> <ol style="list-style-type: none">40歳以上の方で心不全であることが影響していると考えられる生活課題がある方。認知機能、言語コミュニケーション能力がある方。ADL等が比較的自立しており、社会活動等（仕事含む）を営むことができている方。心不全ステージB及びC程度の方。1時間程度のインタビューに耐えることができる身体状態である方。 <p>●研究の方法</p> <p>①支援プログラムを体験していただきます</p> <p>これまでに作った支援プログラムを、実際に使っていただきます。病院や地域のスタッフが参加者の方と一緒に、生活を支える取り組みを行います。外来受診の際などに医療ソーシャルワーカー等の専門職が生活のご意向やプログラムの進捗状況などをおうかがいします。期間はおよそ1年間です。</p> <p>②ご意見をお聞かせください</p> <p>プログラム終了後に、45分ほどのインタビューをお願いし、感じたことやご意見を伺います。これにより、プログラムの良い点や改善点を見つけプログラムをよりよいものに改良します。</p> <p>●参加を拒否する権利</p> <p>事前に調査について書面と口頭で説明させていただきます。同意を頂けた方のみにプログラムへの参加とインタビューをお願いしますが、いつでも参加の取消を求めることができます。</p>
個人情報の取扱い	次の方法でプライバシーに配慮し、個人情報の保護を徹底します。お話いただいた録音データは、密保持契約を締結した専門業者に依頼し、テープ起こしをお行います。お話いただいた録音データは文字起こし終了後終了後直ちに消去します。文字データはお名前、住所など個人が特定できる情報は全て削除し、記号に置き換え、個人が特定できない状態にして分析を行います。研究成果を学術雑誌や学会等で発表する際も、個人情報、固有名詞（関係者や医療機関の名前など）は記号に置き換えます。
問い合わせ先	東名厚木病院 医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 福田 美香 電話（代表）042-229-1771 Mail fukuda@tomei.or.jp